

事務事業名		高齢者ふれあいサロン事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4829	一般	3	1	3	高齢者ふれあいサロン事業					
	事業区分	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業			
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成13年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者ふれあいサロン事業実施要綱		実施方法		一部委託	
								事業分類		支援事業	
								リーディングプロジェクト		該当なし	
							市長マニフェスト		2-9		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
高齢者が地域の中でいきいきとした生活ができるよう、高齢者と地域住民が、いきいき・健康づくり及び社会参加を共に促進することにより、高齢者の孤立感や不安感の解消を図る。単位老人クラブに委託し事業を実施している。	家に閉じこもりがちな高齢者に対し、地域の中でいきいきとした生活ができるよう、誰でも気軽に参加できる場として、老人クラブ等に委託し、「ふれあいサロン」を開設する。						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	ふれあいサロン開設数	箇所	97	99	99	101	103
	参加者数	人	61,082	62,341	66,300	67,300	68,300

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

おおむね60歳以上の自立した生活を営む者	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	60歳以上の高齢者数	人	41,687	42,554	43,421	44,288	45,155

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

閉じこもりを防止し、高齢者の孤立感や不安感の解消を図る	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	一次予防事業参加者数	人	4,902	5,105	5,900	5,950	6,000

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	ふれあいサロン参加者数	人	61,082	62,341	66,300	67,300	68,300
	老人福祉センター利用者数	人	148,959	163,843	144,000	145,000	146,000

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	3,000	2,600	2,760	2,600	2,600			
	一般財源	千円	1,504	1,863	1,840	2,100	2,200			
	事業費計(A)	千円	4,504	4,463	4,600	4,700	4,800			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			事業委託料	4,504	事業委託料	4,463	事業委託料	4,600	事業委託料	4,700
	人件費	人	1	1	1	1	1			
のべ業務時間	時間	230	230	230	230	230				
人件費計(B)	千円	895	906	906	906	906				
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,399	5,369	5,506	5,606	5,706				

事務事業名	高齢者ふれあいサロン事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	--------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成13年に、閉じこもり防止のため、市民からの要望により開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者の閉じこもり防止と社会参加を促すという趣旨で始まった事業であるが、高齢者を地域で支えていこうというように国・県の考え方も変わってきている。その中で、地域の元気な高齢者が虚弱な高齢者を支えていこうという事業の一つでもあり、より重要性を増してきている事業である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	閉じこもり防止ばかりではなく、より介護予防として内容を充実させるよう市議会議員などから要望されている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 高齢者の閉じこもり防止を目的としており、社会参加を促し、豊かな長寿社会の実現に向けた政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	委ねている	理由・改善案 介護予防の一環として重要な事業であり、高齢者の増加が続く現状から、必要な事業である。単位老人クラブ等に委託し、事業を実施している。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 高齢者及び引きこもり高齢者の社会参加を促すことが目的であり、各会場で内容や運営が多少異なるが、お茶のみを中心とした集まりであり、対象、意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案 地域でのボランティアの参加や介護予防事業などの連携が図られてきており、また、閉じこもりの防止や社会参加の促進が図られており、成果が充分に出ている。総合計画の実施計画事業であり、毎年実施箇所を増やす計画である。事業の見直しによる成果向上余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 平成22年度に新規開設する時の準備補助金を10万円から7万円に、24年度からは5万円とし事業費の節減を図っている。委託料は1箇所あたり年間5万円で、年間36回～48回サロンを開設している。人件費についても必要最小限の人数に対応しているため、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 サロンに参加する高齢者は、それぞれの会場で実情に合わせて参加費を負担しており、適正に受益者の負担がされている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 介護予防の必要性が高まっているなかで、ふれあいサロン事業は高齢者の閉じこもりを防止し社会参加を促す事業であり、廃止・休止はできない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			